

リスキリングのすすめ

How to

<https://www.pref.gunma.jp/site/reskilling/>



かわら版
2026
第15号

会社でリスキリングどう進め、どう実践していくかお悩みの方は必読です！

「リスキリングの取組事例を知る企業交流会(第3回)」開催レポート

令和8年1月27日（火）群馬県庁32階NETSUGENにて、リスキリングを経営戦略の中核に据え、ロボティクス、デジタルマーケティング、AIなどのスキルを従業員に習得させることで、労働生産性の飛躍的な向上、新規事業の育成などの大きな成果を実現している企業をお招きし、具体的な取組事例を交えた情報交換を図る企業交流会を開催しました。

②取組内容

石川樹脂工業(株)の取組は「小さくはじめる（スマールスタート）」を軸に、以下のように段階的に進められたのが特徴。

1) 社内コミュニケーション改革 (slack導入)

スマールスタートで「Slack」を一部の部署から試験導入し、全社へ展開。
→伝達漏れ減少、情報共有の透明化を実現。

2) EC事業におけるリスキリング

石川専務自身がリスキリングでEC事業のノウハウ習得。
→ECのノウハウ蓄積後、現場設計者をECマーケターに抜擢、売上3倍に。

3) AI・ロボット活用に向けたリスキリング

ロボットは2名+1台から導入、外部トレーニングも活用。
→現在は20台以上に拡大。16名をロボットオペレーターに育成。

AI勉強会で日報の電子化、発注管理など社内アプリを自作できるレベルに

③取組成果と今後の展望

1) 労働生産性の大幅な向上（取組開始から現在では生産性が2倍以上に向上）

2) 自社ブランドの売上比率が50%超へ

→OEM依存からの脱却、BtoCの売上比率は0 → 4割以上へ拡大。

3) 過去最高の売上・営業利益を達成、働きやすさの向上

→賃金上昇、休日増加、離職率低下、採用力向上、社員の主体性向上、
社内改善活動の定着

リスキリングの次は「再定義」、小さく始める段階から「組み込む」段階へ

これからはAIが前提の世界で、「人が何をするか」を再定義し、経営者の意思決定の「補助輪」としてAIを活用。

AI・ロボットを経営・業務プロセスに本格的に組み込むフェーズへ移行。

問合せ先：群馬県 産業経済部 労働政策課 人材活躍支援室 リスキリング推進係

✉ rouseika@pref.gunma.lg.jp ☎ 027-226-3403

【第3回テーマ】

リスキリングによる新規事業で会社の更なる成長を実現！ 成果を生み出す仕組みづくり

第3回は、昨年度の「日経リスキリングアワード2024
大賞受賞企業」である石川樹脂工業(株)から

①リスキリングに取り組む目的・背景

②取組内容

③取組成果や今後の展望

などを中心に事例を発表していただきました。



石川樹脂工業(株)石川専務

石川樹脂工業(株) <石川県加賀市> 樹脂製の食品雑貨等の販売・製造

①リスキリングに取り組む目的・背景

<地域の人口減少による労働力不足の深刻化>

石川樹脂工業(株)がある石川県加賀市では20年後の生産人口が半減する見込みであり、従来の人手依存型体制では事業継続が難しい状況にあった。

<事業構造転換の必要性>

OEM（受託生産）中心であったが、価格競争の激化などにより、自社ブランド育成（ARAS等）を核として事業モデルへの転換が求められた。

<企業ビジョン実現に向けた組織づくり>

「素材の力で世界を変える、働きがいのある会社」というビジョン実現のため、社員が学び挑戦できる組織文化づくりをめざした。